

日程 平成 29 年 5 月 3 日～5 月 5 日 (尾瀬) 平ヶ岳・景鶴山

5/3 沼田駅＝鳩待峠－山の鼻－スズヶ峰－JP1911(泊)

5/4 JP1911－平ヶ岳－JP1911－景鶴東肩－景鶴山－景鶴山東肩(泊)

5/5 景鶴山東肩－与作岳－ヨッピー吊橋－山の鼻－鳩待峠＝沼田駅

撮影者 押久保

5/3



←001 山の鼻

天気と雪の塩梅が最高で、前途洋々、楽しむ気満々。



002 猫又川の支流→

猫又川沿いにひたすら歩く、途中支流のスノーブリッジを渡る雪量が多く簡単に渡れた。カップ山からの party とすれ違う。



←003 左俣の標高 1500m 弱からはっきり分かる尾根

SL が此処までで俺の仕事終わりと・・・そんな～一緒に登りましょうよ～と寸劇をやってから登り始める。350 度の方向へ



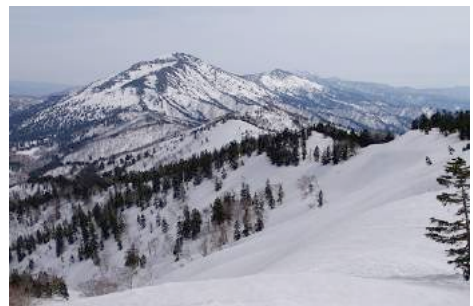
004 至仏山からスズヶ峰、JP1911 へと続く稜線→

1810m 辺りで稜線に出てひたすら歩く。至仏景鶴隧が良く見える



←↓005 JP1911 の下で幕営

吞兵衛の夜は長い。満天の星の下、気温も高く快適。





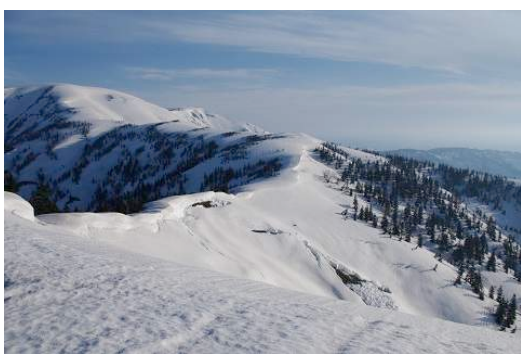
←006 平ヶ岳へ続く稜線

朝御飯を食べ明るくなってから歩き始める。↙山スキーヤーがいた。



007 クラックや雪庇→

L と SL の慎重な判断のもとの的確な位置取りで平ヶ岳を目指す
天気は最高で 360 度の眺望をひたすら歩く。



←008 平ヶ岳へ続く

とにかく笑えれば〜♪・・・ではなく、とにかくひたすら歩く
↓こんなの踏み抜いて落ちたら笑えないです。



009 2141m 平ヶ岳の頂上(逆光)→

この写真は至仏山方面をバックに、集合写真トップは越後三山をバックに。此処を目指してきたので 30 分ぐらい長居。三角点は北東に 200m ぐらいの所にあるが雪で埋まっている。



←010 JP1911 下の幕営地に戻る

虹？が綺麗に出ました。テント撤収して景鶴へ向かう↓大白沢山の北側をトラバース。↘景鶴を北側に巻いてトラバース。





←011 景鶴に続く痩せ尾根(5/4 夕方)

荷物を置いて東側から二日目の内に景鶴を登る。



012 景鶴山頂上→

尾瀬一望。登りは呆気なく平ヶ岳に比べるとショボく期待外れだが眺望は最高でした。LとSLによると去年に比べ雪量が多いとのこと。



←↓013 二日目夜景鶴山東側幕営地にて

まずはビールで。男の料理も中々美味い、今夜も吞んでくれ。



014 5/5 こどもの日の朝(景鶴東側幕営地前にて)→

最終日も天気が良く。前途洋々、街に帰りたくない気満々・・・いかんいかん。今日は下りで短いが、細心の注意を払って出発。



←015 与作岳から東電小屋方面へ

与作は木をきる～♪へいへいほーへいへいほー♪唄いながら平ヶ岳とお別れ。1537.9 手前のコルからショートカットして尾瀬ヶ原に出る。↓ヨッピー吊橋。㇔燧ヶ岳と尾瀬が原と水芭蕉。3日間ありがとう。

